大谷大学博物館特別展「物語をつたえる絵とことば」

ワークショップのお知らせ

佐藤愛弓（大谷大学）

大谷大学では、中世文学会の開催に合わせて「物語をつたえる絵とことば」展として、和泉市久保惣記念美術館、西尾市岩瀬文庫のご協力をいただき、絵巻と奈良絵本を中心とした展覧会を行います。この展示のねらいとして、たとえば『釈迦の本地』ならば、漢字片仮名写本、ひらがな写本、絵巻、奈良絵本、版本を揃えるなど、一つのテーマをできるだけ多くの媒体でみせようという点があります。ご覧いただければ幸いです。

ただ、大変残念なことに、大谷大学博物館はとても小さいので、絵巻も奈良絵本もごく一部しか開くことができません。そこで、中世文学会のお時間を少し頂戴し、展示では開いていない部分の資料写真をパワーポイントなどで紹介し、図録解説を担当したメンバーによる解説とともに、ご鑑賞いただけないかと思い、当企画を考えました。大谷大学本は画像が公開されていないこともあり、良い機会になるのではないかと考えます。

ご参加のほどよろしくお願ひ申し上げます。

※なお、当ワークショップについては、画像データ公開の問題などから、オンラインでは配信することができません。会場のみでの開催となりますことをご了承くださいませ。

（担当）

『日吉山王利生記絵巻』『山王靈驗記絵巻』など	佐藤愛弓（大谷大学）
『釈迦の本地』『優填王所造梅檀釈迦瑞像歴記』など	本井牧子（京都府立大学）
『胡蝶』『住吉物語』『中将姫一代記』など	江口啓子（名古屋市立大学）
『鉢かづき』『四十二の物あらそひ』など	末松美咲（岐阜大学）

出品資料（一部）

『金蔵論』『言泉集』『妙法蓮華経釈』『日吉山王利生記絵巻』『釈迦の本地』『胡蝶』『中将姫一代記』『鉢かづき』『もんがく』『ぶんしやう』『四十二の物あらそひ』『住吉物語』『よしつねあづまくだり物語』